



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 椿本興業株式会社

コード番号 8052 URL <http://www.tsubaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 椿本 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員

(氏名) 春日部 博

TEL 06-4795-8806

四半期報告書提出予定日 平成24年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	18,737	17.1	382	195.3	453	141.8	272	377.5
24年3月期第1四半期	16,004	14.0	129	—	187	—	57	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △209百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 430百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	8.47	—
24年3月期第1四半期	1.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	51,945	12,516	23.9
24年3月期	53,248	12,955	24.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 12,415百万円 24年3月期 12,872百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	7.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	3.00	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,000	9.1	950	15.8	1,020	13.3	450	31.8	13.98
通期	84,000	2.9	1,950	2.1	2,050	2.3	1,000	16.5	31.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	32,489,845 株	24年3月期	32,489,845 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	311,734 株	24年3月期	309,744 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	32,178,552 株	24年3月期1Q	32,186,357 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
5. 補足情報 .....	10
受注、販売及び仕入の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、東日本大震災及びタイ大洪水からのサプライチェーンの回復による企業活動が活発化し、緩やかに回復いたしました。

世界経済は、これまで中国をはじめとするアジア圏諸国の高い経済成長に牽引されてきましたが、長引く欧州債務問題や足元では中国経済の減速の兆しが見られます。また、国内においては、長期化する円高、電力問題など経済環境の先行き不透明な状況となっております。

このような状況下において、当企業グループは、国内を地域別にきめ細かくフォローしていく体制に移行し、国内外での営業協業体制を更に強化することで、成長分野である自動車関連、新エネルギー関連、環境関連、食品関連、医療・医薬関連等の各分野への積極的な営業展開により、下記の通り、前年同期に比べ大幅な増収、増益となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、

売上高	187億37百万円	(前年同期比 117.1%)
営業利益	3億82百万円	(前年同期比 295.3%)
経常利益	4億53百万円	(前年同期比 241.8%)
四半期純利益	2億72百万円	(前年同期比 477.5%)

となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりです。

平成24年4月1日付で実施した組織改革で、従来の取扱商品別による事業部制を廃止いたしました。

国内営業体制について、関係会社を含めた当社グループの営業部門は、顧客ごとに大きく3つのエリア（地区）に区分しました。これにより、従来は事業部ごとに別々に取り扱っていた、地域特性を生かした商品・サービスを、担当エリア部門が一括して顧客にご提供・ご提案できる体制となりました。

また、海外ビジネス担当部門やマテリアルビジネス担当部門の強化に加え、海外商品を含めた全社的な新商品の開発や製造業の動向を先取りした商品の全社的育成に取り組む部門を新設し、これらを総合した開発戦略本部を発足させました。

これに伴い、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しております。

#### 東日本営業本部

北海道・東北・甲信越・関東地区において機械部品から搬送設備等の自動化・省力化商品を中心に顧客のニーズにあった最適な商品を提供しており、その売上高は全体の約37%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、このエリアにおいて液晶・半導体業界の景気は低迷したものの、東日本大震災後のサプライチェーンの復旧で自動車関連業界が回復し、国内外での自動車関連設備投資が増加したため、当本部の売上高は、69億79百万円となりました。

#### 中日本営業本部

東海地区において機械部品から搬送設備等の自動化・省力化商品を中心に顧客のニーズにあった最適な商品を提供しており、その売上高は全体の約14%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、このエリア内の顧客の国内外での自動車関連設備投資の増加に売上高が牽引され、また、航空機・食品業界にも積極的な営業展開を計った結果、当本部の売上高は、25億19百万円となりました。

#### 西日本営業本部

北陸・関西・中国・四国・九州地区において機械部品から搬送設備等の自動化・省力化商品を中心に顧客のニーズにあった最適な商品を提供しており、その売上高は全体の約25%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、このエリア内の顧客の国内外での環境・エネルギー関連業界向け、液晶関連業界向け設備投資が増加したため、当本部の売上高は、47億27百万円となりました。

#### 開発戦略本部

全社横断部門として、海外ビジネス基盤の拡大、マテリアルビジネスの拡大、制御・センシングビジネスに向けた新商品の開発に取り組んでおり、その売上高は全体の約24%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、自動車関連設備等の海外案件の増加と国内外で医薬・介護・衛生関連商品及び三角ティーバッグ高速製造装置等の新商品が順調に売上を伸ばし、当本部の売上高は、45億10百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は519億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億3百万円減少いたしました。流動資産は7億8百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が23億54百万円減少した一方、現金及び預金が14億14百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、5億94百万円減少いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価が前年度末に比べ下落したことにより7億47百万円減少したこと等によるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は394億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億63百万円減少いたしました。流動負債は8億55百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が6億88百万円減少、未払法人税等が4億32百万円減少した一方、前受金が4億11百万円増加したこと等によるものであります。一方、固定負債は8百万円減少いたしました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は125億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億39百万円減少いたしました。主な要因は、当四半期純利益を2億72百万円計上した一方、その他有価証券評価差額金が5億25百万円減少、配当金の支払いを2億25百万円実施したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は欧州の財政不安や、中国経済の減速などによる世界的な景気の停滞、長期化する円高等により先行きの不透明感が続くものと思われまます。

当企業グループにおいては、更なる営業体制の強化による協調体制を整え、コスト管理の強化徹底、顧客密着営業展開により、目標達成に全力で取り組んでまいります。

このような状況を踏まえ、平成24年5月10日公表の業績予想を据え置くことといたします。

(通期連結業績予想)

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	連結当期純利益 (百万円)
通期	84,000	1,950	2,050	1,000

(第2四半期連結業績予想)

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	連結四半期 純利益 (百万円)
第2四半期(累計)	42,000	950	1,020	450

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,783	6,197
受取手形及び売掛金	33,472	31,117
電子記録債権	591	301
商品及び製品	1,998	2,325
仕掛品	2,478	2,974
繰延税金資産	171	136
その他	916	659
貸倒引当金	△178	△187
流動資産合計	44,233	43,525
固定資産		
有形固定資産	591	568
無形固定資産	65	60
投資その他の資産		
投資有価証券	7,019	6,271
その他	1,462	1,645
貸倒引当金	△125	△126
投資その他の資産合計	8,357	7,791
固定資産合計	9,014	8,419
資産合計	53,248	51,945
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,359	32,671
短期借入金	210	210
未払法人税等	586	153
役員賞与引当金	140	—
前受金	1,802	2,214
繰延税金負債	11	8
その他	452	448
流動負債合計	36,561	35,706
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	1,169	1,178
長期未払金	359	343
繰延税金負債	0	0
その他	202	200
固定負債合計	3,731	3,722
負債合計	40,292	39,429

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,945	2,945
資本剰余金	1,805	1,805
利益剰余金	7,090	7,137
自己株式	△84	△84
株主資本合計	11,757	11,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,192	667
繰延ヘッジ損益	5	1
為替換算調整勘定	△82	△57
その他の包括利益累計額合計	1,115	611
少数株主持分	82	100
純資産合計	12,955	12,516
負債純資産合計	53,248	51,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	16,004	18,737
売上原価	13,812	16,192
売上総利益	2,192	2,544
販売費及び一般管理費	2,063	2,162
営業利益	129	382
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	64	73
その他	17	18
営業外収益合計	83	93
営業外費用		
支払利息	7	6
売上割引	7	9
持分法による投資損失	7	0
その他	3	5
営業外費用合計	25	22
経常利益	187	453
特別損失		
投資有価証券評価損	—	4
その他	—	1
特別損失合計	—	5
税金等調整前四半期純利益	187	447
法人税、住民税及び事業税	71	130
法人税等調整額	50	30
法人税等合計	122	161
少数株主損益調整前四半期純利益	64	286
少数株主利益	7	13
四半期純利益	57	272



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	64	286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	355	△525
繰延ヘッジ損益	0	△3
為替換算調整勘定	6	26
持分法適用会社に対する持分相当額	2	7
その他の包括利益合計	365	△495
四半期包括利益	430	△209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	420	△230
少数株主に係る四半期包括利益	9	21

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 営業本部 (百万円)	中日本 営業本部 (百万円)	西日本 営業本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高							
外部顧客への売上高	6,578	2,347	3,876	3,203	16,004	—	16,004
セグメント間の内部 売上高又は振替高	347	145	331	389	1,213	△1,213	—
計	6,926	2,492	4,207	3,592	17,217	△1,213	16,004
セグメント利益	97	35	103	53	290	△160	129

(注) 各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

セグメント別	主要商品名
東日本営業本部 中日本営業本部 西日本営業本部	ローラチェーン及び鎖車、タイミングチェーン及び歯付きベルト、 各種搬送用チェーン、各種カップリング、各種電動機、制御機器、 各種変減速機、電子機器、その他伝動機器 クリーンエネルギー関連設備、医薬・バイオ関連設備、化学機械装置、水処理装 置、食品機械、その他環境装置、工作機械、鍛圧機械、産業用ロボット、各種コ ンベヤ、各種自動化装置、サイロ設備、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装 置を含むFAシステム、建築請負工事
開発戦略本部	海外における上記商品 各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	290
セグメント間取引消去	△11
全社費用(注)	△148
四半期連結損益計算書の営業利益	129

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 営業本部 (百万円)	中日本 営業本部 (百万円)	西日本 営業本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高							
外部顧客への売上高	6,979	2,519	4,727	4,510	18,737	—	18,737
セグメント間の内部 売上高又は振替高	497	104	266	493	1,362	△1,362	—
計	7,477	2,624	4,994	5,003	20,100	△1,362	18,737
セグメント利益	243	18	155	125	543	△161	382

(注) 各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

セグメント別	主要商品名
東日本営業本部	変減速機等各種駆動部品、コンベヤチェーン等各種搬送部品、制御機器、各種センサー、電子機器、その他伝動機器
中日本営業本部	クリーンエネルギー関連設備、医薬関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むFAシステム
西日本営業本部	海外における上記商品
開発戦略本部	各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	543
セグメント間取引消去	△3
全社費用(注)	△157
四半期連結損益計算書の営業利益	382

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日付の組織改編に伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「動伝事業」、「設備装置事業」、「産業資材事業」から、「東日本営業本部」、「中日本営業本部」、「西日本営業本部」、「開発戦略本部」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

### 受注、販売及び仕入の状況

#### (1) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)
東日本営業本部	7,026	△ 19.7	7,822	△ 0.4
中日本営業本部	3,393	+ 32.8	5,570	+ 52.6
西日本営業本部	5,623	△ 9.4	7,454	+ 5.8
開発戦略本部	5,144	+ 7.7	2,853	+ 15.1
調整額	△649	—	△3,553	—
合計	20,539	△ 1.5	20,147	+ 11.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本営業本部	7,477	+ 8.0
中日本営業本部	2,624	+ 5.3
西日本営業本部	4,994	+ 18.7
開発戦略本部	5,003	+ 39.3
調整額	△1,362	—
合計	18,737	+ 17.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 仕入実績

当第1四半期連結累計期間における仕入実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本営業本部	6,359	△ 1.9
中日本営業本部	2,448	+ 5.6
西日本営業本部	4,491	+ 22.3
開発戦略本部	5,078	+ 57.1
調整額	△1,362	—
合計	17,015	+ 17.4

(注) 上記の金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

セグメント情報の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを変更しております。なお、報告セグメントごとの前年同四半期増減比は、変更後の区分方法により作成しております。